



肺がんCT検診認定機構メールマガジン

第20号

2016年12月号

目次

認定医師更新講習会および認定医師新規認定講習会について	1
2016年肺がんCT検診認定技師認定講習会および更新講習会総括	2
講習会スケジュール	4
関連会議のご案内	5
編集後記	6

認定医師更新講習会および認定医師新規認定講習会について

(公財) 東京都予防医学協会

金子昌弘

本機構においては、認定医師と認定技師の制度があります。認定技師に関しては、2日間の講習と実際のモニター画面でのテストがあり、コンピュータの台数の制約で受験できる人数にも制限があり、受講自体が狭き門になっています。

しかし、認定医師に関しては、呼吸器関係あるいは放射線関係の専門医資格を持っているか日本肺癌学会や日本CT検診学会に7年以上入会している医師であれば、新たな試験などは行う必要は無いが、専門分野によって多少の知識の差があるから、その差を埋めるだけの講義を受講すれば認定医の資格を与えるということで発足しました。

したがって、当初は呼吸器外科学会、呼吸器学会、医学放射線学会、CT検診学会などの学術総会に併設して講習を行い、受講した人を認定医として認めてきました。しかし、しだいに関連学会との関係が希薄になった関係もあり最近では機構独自に講習会を行っております。また、当初に認定した認定医の方々が更新の時期を迎えてきたことから、更新のための講習も行う必要が出てきたために、同時に両方の講習を行っております。本年は、第10回講習会を大阪国際会議場で、2016年3月13日に開き、第11回講習会を東京のアキバプラザで、2016年8月28日に開催しました。第10回には新規44名、更新53名、合計97名が、第11回には新規70名、更新85名、合計155名の方々が受講されました。

講演の内容は、できるだけ認定医の方々全員に同レベルの知識を持ってもらう必要がありますので、数年間はあまり内容も変えずにできるだけ同じメンバーの講師で行って왔습니다。今年は2回とも、初めに岡山健康づくり財団の西井研治先生からCT検診は肺がんだけではなく結核の

集団感染などの早期診断にもきわめて有効であるという講演がありました。続いて小諸厚生総合病院の丸山雄一郎先生からは低線量CT検診の実際、および読影方法や経過観察について豊富な経験をもとに話されました。午前の最後には放医研の島田義也先生が、一般の人からの質問が多い、被曝の問題について話され、低線量CTの安全性について教えていただきました。

午後の部の最初は長野の安曇総合病院の花岡孝臣先生に小型肺がんの外科手術に関する縮小手術に関する研究状況の説明がありました。ついで10回は中川徹先生、11回は草野涼先生、いずれも日立健康管理センタの先生方にCT検診で発見される肺がんやその類似病変の講演があり、最後に大阪成人病センターの中山富雄先生からCT検診の精度管理の重要性や最近の有効性に関する研究の進捗状況の紹介がありました。それぞれの講演の後には簡単なテストがありましたが、これは採点をするためではなく、出席の確認や理解度を見るためのもので、可否には関係はありません。

認定医を更新するためには、受講だけではなく、認定医師用読影トレーニングを5年間に少なくとも1回は受ける必要があります。これは機構のHP上で12月末まで行っておりますので、来年度更新を予定している方は必ずお受けください。パスワードが必要ですがお忘れになっている方も多く、事務局にも問い合わせが来ております。事務局も年末の休暇にはいりませんとお問い合わせにも答えられなくなりますので、どうぞお早めに動作確認だけでも行っておくことをお勧めします。

すべての都道府県に認定医、認定技師が在籍しておりますので、そろそろ施設認定を開始するよう努力をしております。認定医、認定技師の在籍は認定施設の条件の一つですので、すでに資格をお持ちの方は必ず更新をされるようお願いいたします。

2016年肺がんCT検診認定技師認定講習会および更新講習会総括

NPO法人肺がんCT検診認定機構認定技師部門

花井耕造

本年開催された肺がんCT検診認定技師定期講習会（以下、定期講習会）、および認定技師更新講習会の概要を以下に報告いたします。

- 1). 平成28年2月27日（土）、28日（日）に第15回定期講習会、および第9回更新講習会が駒澤大学（東京）で開催されました¹。第15回定期講習会は全国212施設より応募があり106名が受講されました。合格者数は74名、合格率＝69％でした。同日（27日）に開催された更新講習会の受講者は50名でした。
- 2). 7月16日（土）、17日（日）に第16回定期講習会が滋賀医大で開催されました、翌週の7月23日（土）に第10回更新講習会が広島県医師会館で開催されました。受講者は50名。
- 3). 10月8日（土）に第11回更新講習会が国際研究交流センター（国立がん研究センター）で開催されました。受講者は37名。

本年は第16回定期講習会が開催地：滋賀、そして第10回更新講習会が開催地：広島と分かれて開催されました。これは受講者からの東京、滋賀以外での講習会開催の希望が多かったためです。第1回から第16回定期講習会までの平均合格率は82％、第11回更新講習会までの認定技師更新率は74％でした。

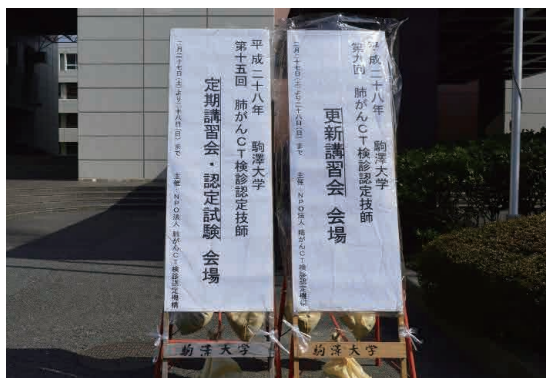
第15回、第16回定期講習会アンケートの中で、受講者より「不合格の際、点数が分かれば次

回の対策につながる」、「試験の点数を筆記、読影それぞれ教えてほしい」との記載がありました。今後、受講者への試験結果記載（異常所見検出試験の感度、FP数、筆記試験の得点）を検討していきます。また更新講習会ではCOPDの講義の評価が高く、今後の更新講習会の講義内容として継承することを検討いたします。

現在の認定技師の総数は1,170名、同時に認定期間5年目を迎える認定技師の更新講習会への参加も多くなりました。NLSTでのCT検診によるCXRに対し20%の肺癌死亡率低減の報告、そしてUSPSTFによる肺癌CT検診に対するグレードBの評価、CMSによる2015年からの公的医療保険適用など、米国では年齢と喫煙指数などで高危険群を絞り込み、低線量肺癌CT検診の普及に向けての体制の構築、施設認定、そしてCT検診にかかわる人材育成が進んでいます。今年度までに結果報告が予想されている2つ目の大規模無作為化比較試験：NELSONの結果次第によって日本を含め世界の肺癌検診の方向は大きく変わることが予想されます。いつ、どこでも、安全で精度の高いCT検診を安心して受けられる体制の構築と人材育成がCT検診の普及の鍵です。今後も引き続き、検診にかかわる人材育成、教育、を通じて肺癌死の低減に寄与していきます。

¹平成27年7月開催予定であった第14回定期講習会は台風の影響により開催中止となった

1. ■第15回定期講習会・第9回更新講習会：駒澤大学



講義

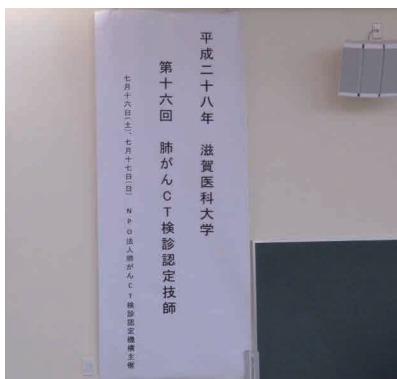


筆記試験



異常所見検出試験

2. ■第16回定期講習会：滋賀医大



講義

3. ■第10回更新講習会：広島医師会会館



受付



講義

講習会スケジュール

第12回 肺がんCT検診認定技師 更新講習会 ※申込み終了

日時 平成29年1月28日(土) 9:30～15:00

会場 駒澤大学 1-202教場(1号館)

第17回 肺がんCT検診認定技師 定期講習会 ※申込み終了

日時 平成29年1月28日(土)、29日(日)

1日目9:00～17:30、2日目8:50～13:20(予定)

会場 駒澤大学

① 講習会+認定試験受講者のかた

1月28日：1-201教場(1号館)、1月29日：8-151教場(8号館)

② 認定試験のみの受験者のかた

1月29日：8-151教場(8号館)

第12回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

日時 平成29年3月26日(日) 9:45受付開始予定

会場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)1003

定員 300名 ※定員に達した時点で申込受付を終了させていただきます。

詳細はHPをご確認ください。

関連会議のご案内

第24回日本CT検診学会学術集会のお知らせ

大会長 仁木 登(徳島大学大学院理工学研究部)

開催日 2017年2月3日(金)～4日(土)

開催地 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

〒770-0835 徳島県徳島市藍場町2丁目14番地

<http://www.kyoubun.or.jp>

事前参加登録締切日 2016年12月31日(金)

事前参加費振込期限 2017年1月6日(金)

大会HP <http://www.jscts.org/taikai24/index.html>

※本学術集会では以下の単位が取得できます。

- ・肺がんCT検診認定医師 5単位
- ・肺がんCT検診認定技師 7単位(参加者)、9単位(演者)
- ・呼吸器学会専門医更新単位 2単位
- ・放射線科専門医更新単位 3単位



日本CT検診学会 2017年夏期セミナーのお知らせ

開催日 2017年7月22日(土)

開催地 コクヨホール

〒108-0075 東京都港区港南1丁目8-35

※詳細は決まり次第、日本CT検診学会HP(<http://www.jscts.org>)にてお知らせいたします。

※肺がんCT検診の認定医師および認定技師で、更新を目指している方の受講をお勧めいたします。

認定医師：読影、肺気腫セミナーへの参加：5単位

認定技師：技術セミナーへの参加：7単位

※日本呼吸器学会専門医資格更新に係る研修単位の2単位を取得できます。単位申請の際は参加証が必要ですので、大切に保管してください。

※日本医師会生涯教育制度参加証をお渡しいたします。5.5単位を取得できます。

※本セミナーは、日本X線CT専門技師の単位認定講習会(種別 II-3 1日以上)です。(受講者単位数6単位)

編集後記

2016年も間もなく終わろうとしております。皆様にとりまして、今年はどういう年でしたでしょうか。本機構は本年初めから事務局を株式会社クバプロに移動いたしました。昨年から本年にかけてはいろいろトラブルもあり、皆様にもご迷惑をおかけしましたが、来年はさらなる飛躍の年にしたいと思っております。

さて、しばらく中断しておりましたが、肺がんCT検診認定機構のメールマガジンをお届けします。今回は本機構の認定医師、認定技師の認定講習、認定試験の状況を中心に報告してもらいました。

認定医師に関しては認定講習会の始まりのいきさつについても書かせていただきました。認定技師に関してはたくさんの写真とともに、現状を紹介してもらいました。会場の都合でまだ受けられない方が多いのが残念です。このような狭い門をくぐられて取った資格ですので、今後もぜひ維持するようにしていただきたいと思います。

2月には徳島で仁木会長の下で本機構の母体である、日本CT検診学会の第24回学術集会が開かれます。四国では初めての開催になりますので、四国の認定医師・技師の方々をはじめ多くの皆様の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、来る2017年が皆さまにとりまして、ますますの発展の年になることを心から祈念いたしております。

(文責：金子昌弘)

肺がんCT検診認定機構メールマガジン 第20号

2016年12月22日発行

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F
株式会社クバプロ内「NPO法人肺がんCT検診認定機構事務局」

編集責任者 金子昌弘

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：ct-nintei@kuba.jp

WEBSITE：http://www.ct-kensin-nintei.jp/
